放送大学
神奈川同窓会

波濤

http://www.geocities.jp/hatoh_net/

第 46 号

発　行　放送大学神奈川同窓会
　　　　編集委員会
責任者　木村 勝紀
発行日　平成25年11月11日
会員数　614名(平成25年11月1日現在)

愛着と情熱

神奈川同窓会
会長　木村　勝紀

先ずは、2020年東京でのオリンピック・パラリンピックの招致と惑星観測用の小型宇宙望遠鏡「ひさき」を搭載したイプシロンの打ち上げ成功をともに喜びたいと思います。未来に夢と希望を与えてくれることは、気持ちを明るくしてくれます。さて、平成25年度の神奈川同窓会は、「kanagawa　way」を標榜して活動をしています。「kanagawa way」とは、放送大学における同窓会の存在意義について日本一を目指すということです。会員の皆さまのご支援を得ながら希望と展望をもって神奈川同窓会をけん引して行きたいと思います。

前号から『波濤』を全頁カラー版に刷新しました。コストを超えて全会員の皆さまの目に触れるという広報誌の意義を再認識したからです。この『波濤』第46号がお手元に届くのは11月の予定です。その時、読者の皆さまがどんな状況下でお読み戴けるのか、想像を逞しくしないではおれません。皆さまが引続き健康でお健やかに過ごしておられることを願ってやみません。

この原稿のキーワードは「愛着と情熱」です。

私の「愛着と情熱」の対象は放送大学と神奈川学習センターと神奈川同窓会です。生涯学習の機会を与えてくれた放送大学であり、苦学の末の学部卒業と大学院修了を支援してくれたのが神奈川学習センターであり、その私を迎え入れてくれたのが神奈川同窓会でした。

神奈川同窓会を日本一の同窓会にしたい。この気持ちを掻き立てる源はどこからくるのでしょうか。放送大学への愛着であり、神奈川学習センターへの感謝であり、そして同窓会を通して神奈川学習センターの、放送大学の発展に寄与したいという情熱です。自分の利益を超えた大義のために尽すほど人生で満足するものはないと思うからです。大義とは、日本一の同窓会です。見返りを求めず、善意で誰かのために自分にできることをする。そこに神奈川同窓会がありました。放送大学を卒業、修了された同窓会の皆さまも、同じくそのことに誇りを持ち、放送大学への愛着を感じておられることと思います。そう信じてこれからも同窓会活動に情熱を傾けてまいります。どうぞ、ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

我が師の恩

後藤 雄二

同窓会という言葉には心楽しい響きがあります。小学校の同窓会が中学1年生の時にありました。先生に久しぶりに会い、緊張したのを憶えています。中学校の同窓会は、2007年、卒業後31年ぶりに実施されました。私は仕事のため不参加でしたが、会の模様がDVDで届きました。懐かしい友人たちや先生の姿に感激したものでした。高校の同窓会は組織が堅固で、数年ごとに盛大な総会が催され、今秋も実施されました。大学の同窓会は各都道府県に支部があり、支部総会が毎年開かれます。それらと比較しますと、放送大の神奈川同窓会は、通常総会、毎月の「弘明寺サロン」をはじめ、頻繁に各種の親睦行事がありますので、私が卒業した学校の中では一番活発な同窓会だと思います。

ところで、放送大でも大学院のゼミでお世話になった恩師との交流がありますが、今日は私の大学時代の先生の話をさせてください。大学卒業後、私は就職のため故郷の京都から神奈川へ転居しましたが、私には帰省の際、必ず訪れる家があります。Y先生のお宅です。先生は現在96歳です。私が4回生の時、先生は66歳でした(写真1)から、先生とのお付き合いはもう30年を超えています。心底敬愛する恩師です。大学時代は遠くから先生を慕うだけでしたが、最近先生は「君は私の弟子だよ。でも一番弟子は家内かな」と茶目っ気たっぷりに話されます。毎回先生と奥様と3時間ほど談笑し、マンツーマンのゼミを受けているような気分になります。

ゴールデン・ウィーク、お盆、年末年始には、先生のご健康とご長寿に感謝しつつ、先生宅へ向かいます(写真2)。この交流も、私には同窓会の意味合いを携えているように感じられます。

今夏は、『荘子』に関する先生の新著をあらかじめ頂戴し、そのレクチャーを受けました。「『荘子』には、紀元前三世紀頃の人間関係における友情や人間味が具体的に書かれてあり、特に荘子と恵施との厚い友情が『荘子』を生きたものにしている」との先生のご見解には、おおいに納得したことでした。

年齢を重ねますと、学校が自分を育ててくれたことへの感謝の念が深まります。「我が師の恩」―この言葉が心に沁みる今日この頃です。その御恩を決して忘れない人生を歩み続けたいと思います。

66歳のときの恩師と私（写真1）

96歳の恩師（写真2）

神秘的なブルーの海としばしの恐怖体験

櫛田 政五郎

カプリ島の「青の洞窟」といえば、誰もが一度は訪れたい観光地である。しかし、時期によってその夢をかなうのは難しい。2008年10月その夢を実現することになる。そこは、イタリア南部ティレニア海に面した断崖絶壁のところに小さな岩穴がある。当日は波が少々高く、約20人乗りの小さな母船から手漕ぎボートに乗り移らなければ「青の洞窟」に入ることができない。

救命胴衣も身に着けず上下左右に揺られてボートに乗り移る危険この上ない恐怖を体験する。やっとの思いで狭いボートに3人這いつくばり乗り込むことになる。この理由は、洞窟の入り口は幅約2メートルと高さ1.5メートルと狭く乗船客が頭をぶつけないための配慮である。船頭が波のタイミングを見計らってボートは洞窟へと吸い込まれる。内部はまさに漆黒の闇の世界である。突然ボートの船頭が大声で「海面を見ろ!」と叫んだ。やおら体を起こし海面を覗く、そこには神秘的なブルーが眼に飛び込み、息を呑んだ。その時のショットがこの写真である。しかし、一難去ってまた一難、入洞時より一層波が高く洞窟からの脱出が出来ない。しばし波が収まるのを待って脱出するのだが、その待つ時間の長く感じられたことはなかった。人間、閉そく状態に置かれることの恐怖感は思いのほか心理的苦痛と不安感を与える。この日は私にとって一生忘れえぬ旅の思い出となる。

神秘的なブルーの海面

青の洞窟への入り口

同窓会連合会の動向

木村　勝紀

平成25年度の放送大学は、創立30周年記念の年に当ります。現在、全国に50か所の学習センターと7か所のサテライトスペースがあり、学部生、大学院生合わせて88，901名の在学生を抱えています。創立以来の入学生の累積は130万人超、内卒業生、修了生の累積は7万人超となっています。 放送大学同窓会連合会は、全国の学習センターとサテライトスペース合わせて49の同窓会を束ね、登録会員の総数は11，176名を数えます。同窓会を持たない学習センターは、三重・岩手・福島の3か所を残すのみとなりました。神奈川同窓会は、会員数約600名を擁する有力な同窓会の一つということになります。

25年度の同窓会連合会は、平成25年6月1日(土)～2日(日)の両日、幕張国際研修センターにおいて第16回通常総会と同窓会代表情報交換会を開催し、24年度の活動報告及び25年度の活動計画そして25年度の役員改選等が議決されました。 同総会に於いて、東京文京同窓会会長の斎藤成吾氏が連合会会長に留任しました。また、神奈川同窓会会長は連合会副会長に就任し、併せて卒業・修了祝賀委員会委員長の委嘱を受けました。

7月1日(月)には、文京シビックセンターにて「放送大学本部と同窓会連合会役員との懇談会」を開催し、岡部洋一学長他大学側幹部と斎藤成吾会長他連合会側役員が一堂に会し、大学側近況報告、同窓会側活動報告など情報交換を行い、放送大学の発展を期して活発な議論が行われました。トピックスとして、全国ブロック化構想が着々と進展し、九州沖縄地区、近畿地区、中国四国地区、

大学本部と同窓会役員との懇談会

近々では東北北海道地区のそれぞれの同窓会が交流会を開催し、研究発表会、情報交換会を行いブロック単位での連係強化を図り、来るべき全国同窓会連合会組織の更なる一体化を目指して活発な動きが始まりました。

10月19日(土)～20日(日)には、長野において関東甲信越地区交流会が予定されており、残るは東海北陸地区の交流会を残すのみとなりました。

池田龍彦神奈川学習センター所長記念講演
日本の国際化と開発途上国への協力

服部 高重

記念講演の要旨

本日のテーマは「日本の国際化」と「開発途上国への協力」ですが、先ず今朝の2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定を率直に喜びましょう。今後7年間の準備が重要ですが、「人の和」を結集して大会を成功させ、日本の良さを世界に発信することが「日本の国際化」に繋がると考えます。

次にこの写真の5人は1863年に英国に密航留学した5人の長州藩の若者達です。伊藤俊輔(博文)や井上門多(馨)は有名ですが、井上勝は弱冠20歳でした。明治維新政府は新橋–横浜間の鉄道敷設にあたり、英国の鉄道技師エドモンド・モレルを雇用しました。

彼は来日時に28歳でしたが、残念ながら結核に罹り1872年の鉄道開通前に客死しました。その後を継いだ技師の一人が先の英国帰りの井上勝で、我国の鉄道の基礎を築き「日本の国際化」に尽力したわけです。

なお、モレルは鉄道敷設にあたり、英国の鋳鉄製枕木に代わり木製枕木を使用しました。これは我国には木材が豊富であることに着目したからです。外国への技術移転に際して、現地の材料や技術を活用することが重要です。つまり、現地に適切(appropriate)な工法を採用することが大切で、本日の第二のテーマ「開発途上国への協力」を行う際に、我々が大いに参考にすべきだと考えます。

次に「開発途上国への協力」について、私が担当したタイ国の「東部臨海開発計画」についてお話します。
このモデルとなったのが、茨城県の鹿島港です。鹿島は東京から約100km離れた農村でしたが、海岸に水深12mの港を新設し製鉄や製油の工場を誘致し、農業と工業の並立する人口約20万の都市に変貌しました。

タイ国は東アジアに位置し、我国や中国を含む東アジアは現在、世界の海上物流輸送の中心となっています。因みに東アジア・北米・欧州の三極間の海上物流量は、東アジア–北米間13.1%(全世界海上物流量に対して)、東アジア–欧州間12.2%、北米–欧州間3.8%です。なお、東アジア域内の海上物流量は32.3%に登り、これは域内で工業製品の分業生産体制が確立していることを示唆しています。

講演中の池田所長

さてタイ国の「開発途上国への協力」ですが、1970年代にシャム湾で天然ガスが発見されたことを背景に、港湾の拡張整備が計画されました。計画案は①現バンコク港拡張と②東部臨海開発の二案があり、国論を二分する論争に発展しました。現バンコク港は、シャム湾からチャオプラヤ川を遡った首都バンコクに隣接しており、周辺は建物が密集し慢性的な交通渋滞が激しい所です。一方、バンコクからやや南東に直線で約80km(海沿いで120km)に位置する過疎地レムチャバンに新港を建設し、周辺に工業用地を整備し製造業を誘致しようとする計画が第二案です。レムチャバンの南には天然ガスが発見された過疎地マブタプットが位置しており、「東部臨海開発計画」はこのマブタプットにも港を新設しこの地区一体を開発する壮大な計画です。開発費用の融資元の世界銀行は「バンコク港拡張案」を支持し、我国は「東部臨海開発計画」を支持しました。タイ国政府の担当者は茨城の鹿島港も視察し、最終的に1985年「東部臨海開発計画」を採用し、我国はこのプロジェクトに約1,800億円の円借款を行っています。バンコクから鉄道や道路も整備され、レムチャバン近郊には我国から三菱自動車が進出し、現地では"Detroit of East"と呼ばれています。レムチャバン港は1991年に開港しましたが、コンテナ(満載時30ton仕様)取扱量は毎年ほぼ直線的に増加し、2008年には5,000,000個を越えています。一方、この間(1991–2008)のバンコク港のコンテナ取扱量は1,500,000程度に推移しています。タイでは1997年の金融危機でGDPが急落しましたが、レムチャバン港のコンテナ

取扱量は全くこの影響を受けていません。このようにレムチャバンが十分に機能した事は、この計画と管理運営が適切であったからです。バンコク周辺は先の2010年の大洪水で甚大な被害を受けましたが、我国が全面支援した東部臨海地区は無被害でした。

以上、雑駁な話になってしまいましたが、次の三つの言葉で締め切らせていただきます。

It`s a small world.（広い世界に、狭い世間）
皆で一つの方向に向かい協力して前進すれば、色々な出会と感動があり、広い世界が狭く感じられます。

Ever onward!（限りなき前進！）
本学は本年創立30年を迎えました。
勉強に限りない前進をしましょう！

For the people. For the nation.（人類のため、国のため）
これは、私の敬愛する土木技師青山士（あきら）の記念碑にも刻まれています。土木技術者としての強い気概を感じられます。

放送大学創立30周年記念
「第27回　フェスタ・ヨコハマ」

金田　保男

「放送大学創立30周年記念　第27回フェスタ・ヨコハマ」は、平成25年9月7日ー8日に行われました。創立30周年記念と神奈川学習センターに新所長が赴任された事もあり、盛大に行われた結果大好評に終えることができました。また参加券も391枚と過去最高の販売数となりました。

〔初日：9月7日（土）〕
作品展示　（7日ー8日）出展数は昨年度の倍増となり展示担当者より嬉しい悲鳴が上がった程でした。（中には個展を開けるような方も）イベント　AM:映画鑑賞会　題名「史上最強の二人」、PMうたごえ喫茶、大岡寄席、ダンスパフォーマンスと続きそれぞれ60ー70名が参加。特にダンスは猛練習の甲斐があって格段なレベルアップとなり、喝采を浴びました。

〔2日目：9月8日（日）〕
記念講演会　池田　龍彦　放送大学神奈川学習センター所長より、演題「日本の国際化と開発途上国への協力」の講演があり、約220名の参加者で会場が埋め尽くされました。（講演会について別掲あり）　親睦交歓パーティー（立食パーティー）　フェスタを盛り上げるべく各サークル腕を揮います。お抹茶、各サークル出店、俳句・川柳大会、大抽選会等、加えて今年は「甘味どころ」「名酒」も出店されました。

同窓会担当イベント　◎「叢書販売」：神奈川同窓会社会貢献活動の一環として行われている「叢書販売」による販売益は、全額「育英資金」として寄付しています。

◎「お抹茶」：″パーティー会場″の賑いの世界と異なる″静謐な世界″「お抹茶コーナー」では、初日40名、2日目80名のお客様をお迎えし大好評でした。

◎「福引抽選大会」：フィナーレを飾る「福引大抽選会」は、学習センターから一部賞品寄贈を受け賞品内容も立派になりました。関係皆様のご尽力に感謝申し上げます。

同窓会会員の出品作品

弁髪帽の髙橋和夫先生（右から2人目）

『お抹茶コーナー』も楽しんでいただきました

大木　睦夫

まずは参加者の方々の一言感想です。
「お菓子のあとにお茶がとっても美味しく、静かな時間をすごすことができました」
「お茶のマナーは奥ゆかしい、心にゆとりを持つきっかけになりました」
「お手前の説明があってよかったです」
「久しぶりにお茶をいただきました。気持が落ちつきますね。カウンセリングで使ってみたいと、考えました」
「普段は落着いて抹茶を頂くことも無いので、たまにこういう機会を頂くのは有難かったです」
「大変静かなすてきな雰囲気で、とてもおいしく頂きました」
「久し振りにおいしいお抹茶をいただきました。今日は一日気分よく過ごせそうです」
「生まれて初めての茶、大変たのしく頂きました」
参加者のみなさんから好評をいただきました。

ひと時の"静謐な空間"のお抹茶コーナー

社会貢献活動

西山　哲郎

放送大学神奈川同窓会は主に二つの社会貢献活動を行っています。第一に、1991年から行っているプラン・ジャパン（旧フォスタープラン）を通じての社会貢献です。同窓会会員から寄付を募り、現在、バングラディシュ、インドネシア、グアテマラ、マリの5人の子供たちを支援しています。支援は、直接子供たちに現金を渡すのではなく、子供が住んでいる地域の社会開発のために用いられます。近頃、特に力を入れていることが女子教育です。援助が地域に届いたために、男子が学校に行けるようにはなったが、家事のしわ寄せが女子にきてしまって、女子の就学は寧ろ難しくなっているという現状もあります。プラン・ジャパンでは、1年を通じて、女子教育や女子の社会参加を目指した活動（Because I am a girl）を行っております。神奈川同窓会でも講演会を開催するなどして、この活動を積極的に支援しています。

第二に行っているのは、2011年から始めました放送大学叢書の販売収益のあしなが育英会への寄付です。隠れた名著が多いと言われている放送大学テキストの中から選りすぐりのものを書籍化した放送大学叢書。それを販売するだけで社会的に十分意義のある活動であると考えていますが、神奈川同窓会では、販売した収益をあしなが育英会に寄付することにより、遺児家庭で就学継続が困難な高校生などを支援しています。昨年度は、100冊以上の叢書を販売し、48,160円をあしなが育英会に寄付いたしました。またあしなが育英会　会長玉井義臣様からお礼状を頂きました。

社会貢献活動は同窓会の皆様の協力なくしては一歩も進みません。今後とも、同様の支援を賜りますように宜しくお願いいたします。

学位記授与式に参加して

吉原　司郎

去る10月5日恒例の神奈川在籍の卒業式が神奈川学習センターにおいて行われた。平成25年9月卒業生は110名で、全国的にも卒業生は神奈川は多いと聞く。式典に参列された卒業生は58名でお一人ひとり池田龍彦学習センター長より卒業証書・学位記が手渡された。日頃精進の結果が晴れの舞台に立つことができたのでしょう。最短の既定の期間で卒業された方も多勢おられたことと思われますが、仕事との兼ね合いで幾多の障害を乗り越えてこの日を迎えられた方も多かったことでしょう。

卒業証書を受け取るシーンは緊張と安堵が入り混じって清々しい風景でした。

卒業生の記念写真（右）
池田センター長より学位記を授与された。（上）

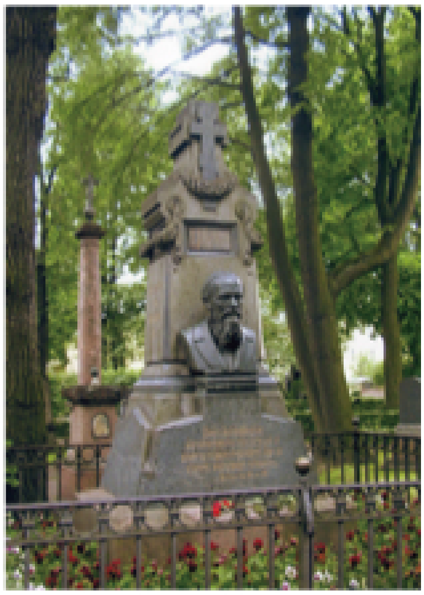
波濤写真展

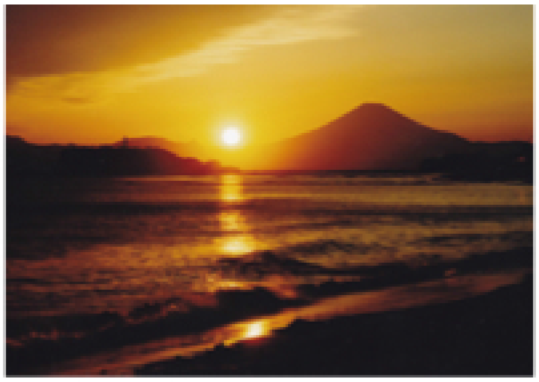
写真募集中
波濤47号掲載

スイスアルプス
トレッキング時に見かけた湖面に映る逆さマッターホルン。（左）

サンクトペテルブルグ
ドストエフスキーの墓
青春時代最も影響を受けた作家への念願の墓参を果たす。（右）

澤村 雅嗣





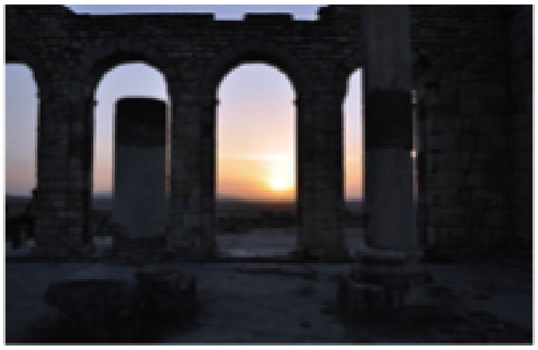
稲村ケ崎日没
冬の強い風にさらされながら稲村ケ崎で日没を待ちました。帯び雲が西の空に高く流れて、富士の向こうに日が沈み、江の島の海が金波に輝きました

佐秦　愼二

マラケシュの朝
撮影：2011年10月6日
モロッコのマラケシュで朝早く旧市街の観光に出かけた際に撮ったスナップです。アラビア語の垂れ幕に何と書かれているのでしょうか。

ヴォルビリスの落日
撮影：2011年10月2日
これは紀元前1世紀にローマ帝国が建設したヴォルビリスの遺跡です。運よく落日に出くわし遺跡をシルエットにしてみました。

植地　勢作



フランス　アルルの跳ね橋
撮影：2010年11月4日
ゴッホで有名な跳ね橋は、第2次世界大戦で焼失し、現在の跳ね橋は3代目とのことでした。

藤井　輝

3つの交流事業が始まる

茶道同好会、始まる！

渡邊　久江

9月18日（水）9時30分から南区大岡センター和室で第一回「茶道同好会」が開催されました。出席は会員11名、木村勝紀会長と役員6名でした。内容は主に役割分担など会の運営についての話し合い、その後お道具の説明と収納場所の確認などをし、最後に、指導者で同窓会会員でもある家田宗禮さんのお点前を拝見しながら、お茶を頂戴し12時に終了しました。今後の活動は、南区大岡センター和室にて、月一回（1・7月は期末試験月のため休み）、第三水曜日9時30分～12時です。また、年に数回の拡大お茶会を予定しております。

神奈川同窓会が神奈川サークル協議会主催のフェスタ・ヨコハマで担当しております「お茶コーナー」は、毎回皆様から好評をいただき、回を重ねるごとに恒例の催しとなり今年は第四回となりました。また同時に、お茶碗やお釜などを買い揃えお道具も充実してきました。以上の理由から神奈川同窓会は、会員の交流をより深めることを目的に「茶道同好会」を発足しました。

茶道同好会

映画上映会

寺村 紀美夫

神奈川同窓会の平成25年度活動計画の「交流事業」として通常総会で「映画研究同好会」が承認され映画を上映して会員相互の交流を楽しむことになり、その担当者として栁澤　明男氏と寺村が選任されました。そして第1回の映画上映会が以下の通り開催されました。

タイトル：二十四の瞳

日時：平成25年9月18日（水）10:00～12:30

会場：神奈川学習センター第3講義室

Coming in November And Also in Next Year

この「二十四の瞳」は昭和29年に公開された名画で、当時に文部省特選映画となり各学校が生徒達を鑑賞させたもので懐かしい映画です。十数名の方々が鑑賞しご好評を頂きました。

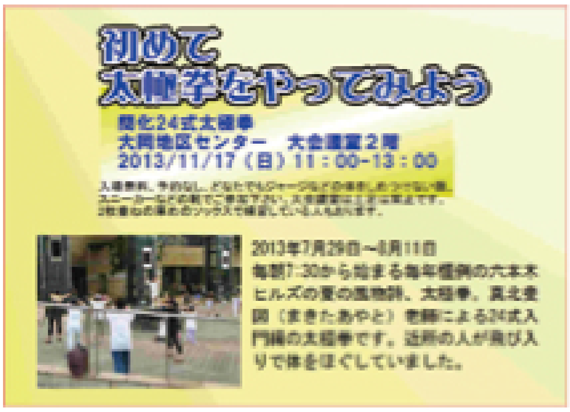
会員相互のコミニュケーションを深めるため各上映会への多数のご参加をお待ちしています。

初めて太極拳をやってみよう

岡本　興和

太極拳が始まります。第1回は2013/11/17（日）に開きます。波濤46号発行では第1回の活動は行っていません。レポートは次号に委ねるとして、例年3月に行われる神奈川サークル協議会主催の冬のフェスタ・ヨコハマの「太極拳ブース　5回目」は、毎回参加者から好評をいただき、「もっと太極拳」と声が高まり神奈川同窓会の太極拳を発足しました。

この11月から始まる太極拳はコーチ・スタッフを整え、澤村　尹　石田　岡本　金田の5人で参加者と一緒に実習します。



写真は六本木ヒルズの夏の風物詩　朝の太極拳

11月の行事案内

“鎌倉の秋” を歩こう

秋の一日を鎌倉・小町、大町、材木座とを歩いてお寺を参拝、材木座海岸で砂浜も歩いて、KKRわかみやで昼食を楽しみましょう。
11月23日（勤労感謝の日）9時30分、鎌倉駅東口改札付近に集合し、9時45分に出発します。
14時30分鎌倉駅西口で解散します。

行程（予定）

鎌倉駅10:00出発—15分—本覚寺（ほんがくじ）—15分—安養院—25分—来迎寺（らいごうじ）—20分—九品寺（くほんじ）—20分—光明寺（こうみょうじ）—10分—材木座海岸—（砂浜散策）—由比が浜—滑川—レストランで食事（90分）—15分—鎌倉駅解散　14:30

幹事；大木　陸夫
メール：ookiikurio@ybb.ne.jp
携帯電話：090-2482-5294

写真は鎌倉市材木座の光明寺です。

同窓会ホームページについてのお知らせ

寺村　紀美夫

同窓会のホームページを是非ご覧ください。同窓会について多くの情報や記録が掲載されています。弘明寺サロンなどこれからの行事予定や内容、今までに行われた春・秋の行事、フェスタ・ヨコハマなどのスライドショーや動画を見ることもできます。下記のアドレスにお気軽にアクセスをお願いします。なお投稿などもお寄せください。

ホームページアドレス
http://www.geocities.jp/hatoh_net/
（hとnの間はアンダーバーです。）

事務局だより

平成25年11月1日現在の会員数は614名となりました。また平成25年7月1日（『波濤』45号掲載）以降平成25年秋季入会者は下記の通りです。心より歓迎申し上げます。敬称を省略します。

藤本勲	針谷昌男	小正隆子	齋藤真実	牧野輝幸
鹿島正和	関野利絵	印南英敏	鈴木仁美	武枝博
高柴明子	伊藤洋子	井方秀次郎	堀籠悦子	森英夫
安藤玉美	神谷邦子	吹田若葉	斉藤ヨシ子	永井茜
磯邉誠次				

ご逝去　廣瀬皐月様　本吉利長様　藪多一郎様
　　　　中島巌様
　　　　謹んでお悔やみ申し上げます。　合掌

年会費納入のお願い

会費の納入は5月の総会前後に納入頂く方が大多数です。2年目も忘れると、「自然退会扱い」になります。例年総会案内と一緒に年会費「払込取扱票」を同封しておりますのでご協力の程お願いいたします。
口座番号・年会費金額等は下記の通りです。

口座名	神奈川同窓会
口座記号番号	00250-4-□□16083（右詰め）
年会費	1,000円（送料はご負担願います。）
お問い合わせ	金田保男　Tel.045-333-4426
E-Mail	yasuo-kaneta-626531@hotmail.co.jp

「kanagawa way」活動

神奈川同窓会「3つの理念」に基づく、放送大学における同窓会活動の理想像を目指すkanagawa way活動を推進しています。この目指す方向（幹線道路）には、①機関紙『波濤』②ホーム・ページ③波濤ネットの会④社会貢献活動⑤フェスタ・ヨコハマ共催⑥企画行事に加えて⑦「弘明寺サロン」を核として新たに交流事業を加えました。
☆〔今年度新発足〕①茶道同好会②映画研究同好会③太極拳クラブがスタート。
☆また会計関係帳簿の電子化についても取り組んでいます。

波濤47号掲載の写真募集しています

お気に入りの写真・国内海外で撮った写真をメールでお送りください。1枚または2枚。30文字タイトル・撮影場所・年月日・コメント。撮影者
締切日　2014年4月30日
波濤47号発行　2014年7月初旬予定
okow1439@hotmail.com　岡本興和